

2026年度 長岡大学シラバス

授業科目名	地域分析 (Regional Analysis)					担当教員	瀧波 慶信 (タキナミ ヨシノブ)	
2020-23年度 入学者(20K-23K)	科目コード	科目区分	必修・ 選択区分	単位数	配当年次	開講期	科目 特性	地域志向科目／知識定着・確認 型AL
	2037-1-33-095	専門科目	選択	2単位	3年次	後期		
2024-26年度 入学者(24K-26K)	科目コード	科目区分	必修・ 選択区分	単位数	配当年次	開講期	科目 特性	地域志向科目／知識定着・確認 型AL
	2437-1-33-034	専門科目	選択	2単位	3年次	後期		

① 授業のねらい・概要						
地域社会の研究に必要な地域分析の方法を習得する。ネット上でのデータ探索作業を手始めに、各種統計データや分析結果を地図化するなどの作業を行う。						
② ディプロマ・ポリシーとの関連						
地域社会に貢献する姿勢／専門的知識・技能を活用する能力						
③ 授業の進め方・指示事項						
講義と実習を行う。全員が発表する機会を何度か設ける。その際には積極的な質疑応答が求められる。毎回小課題提出が求められる。						
④ 関連科目・履修しておくべき科目と履修に望ましい予備知識・技能						
特になし。						
⑤ テキスト(教科書)※授業で使用する。						
村山裕司、駒木伸比古(2013)『新版 地域分析』古今書院						
⑥ 参考図書・指定図書 ※授業では使用しないが、授業内容に関係し、理解を深めるために必要とする。						
林宣嗣、林亮輔(2021)『地域データ分析入門』日本評論社						
⑦ 担当教員からのメッセージ(昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等)						
常に問題意識を持ち行動すること。大学生であることを自覚すること。						
⑧ 評価Aに対応する具体的な学習到達目標の目安						
(1) 地域の課題について考える視点を身に付ける。 (2) 地域を知るために地域分析を行うことができる。 (3) 統計データ分析や地図化ができる。						
⑨ ルーブリック						
評価基準		S	A	B	C	D
評価項目		到達目標を越えたレベルを達成している	到達目標を達成している	到達目標達成にはやや努力を要する	到達目標達成には努力を要する	到達目標達成には相当の努力を要する
(1)	地域分析の意味と必要性	地域の意味・地域の在り方を理解し、分析ができる	資料等を参考に地域の分析ができる	地域分析の必要性を理解できる	地域分析の必要性が理解できない	地域について考えることをしない
(2)	地域の特色・課題を説明できる	地域の特色についてさまざまな方法を用いて分析できる	地域の特色について資料を参考に説明できる	地域の特色を発見しようとする態度はある	地域の特色を感じることはできる	地域の特色を考えられない
(3)	さまざまな情報を統計学的手法などにより、数理的に表現・分析できる	さまざまな情報について理解し、地図化などの表現・分析ができる	さまざまな情報について分析できる	さまざまな情報についての理解自体が不十分	さまざまな情報について理解しようという態度は見受けられない	さまざまな情報について全く理解できない

⑩ 学習の到達目標（評価項目）とその評価の方法、フィードバックの方法								
学習到達目標（評価項目）	定期試験 (レポート含む)	小テスト	課題	発表・ 実技	授業への 取組姿勢・意欲	その他	合計	
総合評価割合	50%			50%			100%	
(1) 地域分析の意味と必要性の理解	10%			10%			20%	
(2) 地域の特色・課題を説明できる	10%			10%			20%	
(3) さまざまな情報を統計学的手法などにより、数理的に表現・分析できる	30%			30%			60%	
評価項目「その他」詳細								
フィードバックの方法	提出されたレポートにコメントを行う。							
⑪ 授業計画と学習課題								
回数	授業の内容	授業外の学習課題と時間（分）（※特別な持参物）						
1	ガイダンス	授業の概要、進め方						120分
2	地図を見る	地図処理能力の養成						120分
3	現代のオンライン地図情報	地図情報の収集						120分
4	写真・衛星画像のデータベース（写真）	写真データの収集						120分
5	写真・衛星画像のデータベース（画像）	画像データの収集						120分
6	統計データの探索（収集）	統計データの収集						120分
7	統計データの探索（解析）	統計データの解析						120分
8	個人発表①	発表と質疑応答①						120分
9	個人発表②	発表と質疑応答②						120分
10	個人発表③	発表と質疑応答③						120分
11	空間データ（収集）	空間データの収集						120分
12	空間データ（解析）	空間データの解析						120分
13	メッシュ分析（事例）	メッシュ分析事例						120分
14	メッシュ分析（解析）	メッシュ分析解析						120分
15	まとめ	これからの地域分析						120分
⑫ アクティブラーニングについて								
毎時間、受講生は授業の最後に本時に学んだ内容をまとめる。								

※以下は該当者のみ記載する。

⑬ 実務経験のある教員による授業科目	
実務経験の概要	
実務経験と授業科目との関連性	